

# 株式会社宮崎銀行 会社説明会



<http://www.miyagin.co.jp/>

## 1. 会社概要

## 2. 中期経営計画

## 3. 当行の現況

## 4. 株主還元について

## 県民の皆さまの声によって創設された「県民銀行」

当行は、昭和7年(1932年)日本経済・宮崎県経済の混乱期において、県内各界からの強い要望により、県議会の議決を経て創立された、全国の地方銀行でも稀にみる「県民銀行」です。

### 当行のあゆみ



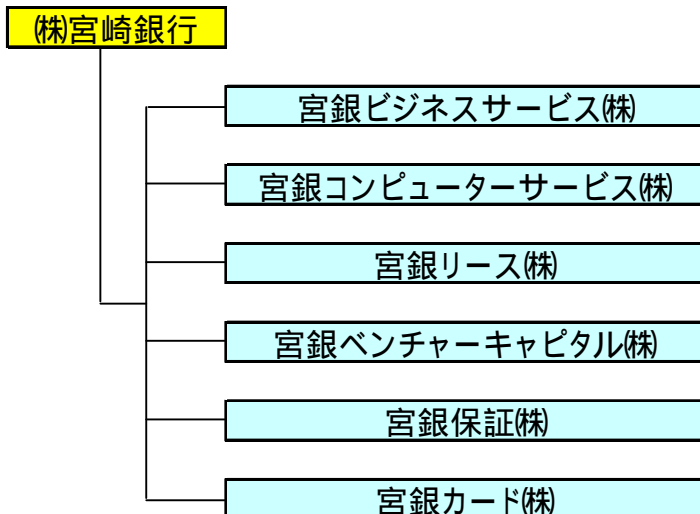
昭和7年 7月	株式会社日向興業銀行設立 (資本金200万円)8月2日開業
37年 8月	30周年を機に、行名を「宮崎銀行」に改称
46年 8月	新本店完成
50年10月	福岡証券取引所に株式上場
57年 9月	ふるさと振興基金創設(50周年記念事業)
61年10月	東京・大阪証券取引所市場第2部に株式上場
63年 9月	東京・大阪証券取引所市場第1部に指定替え (大証 平成17年3月上場廃止)
平成22年1月	資本金146億円に増資
24年 6月	宮崎銀行女子陸上部創部(80周年記念事業)
28年 6月	監査等委員会設置会社へ移行
29年 4月	地方創生部・IT戦略室(経営企画部内)を新設
30年 9月	東京支店・東京事務所・市場金融部東京駐在 移転オープン

# 1.会社概要

## 会社概要 (平成30年9月末)

資本金	146億円
総資産	3兆112億円
純資産	1,520億円
預金残高	2兆3,708億円
貸出金残高	1兆9,601億円
有価証券残高	6,869億円
従業員数	1,466名
格付 (株)日本格付研究所)	長期発行体格付「A」

## グループ会社



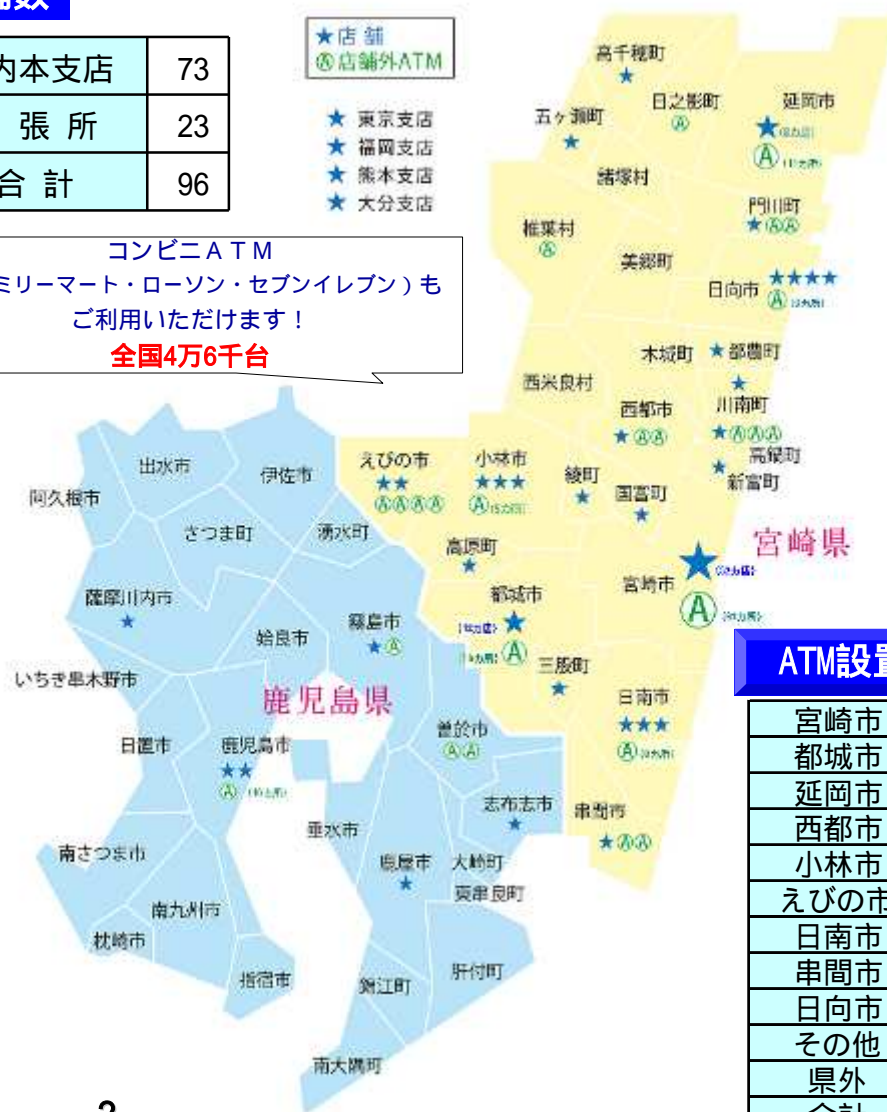
## 店舗・ATM設置状況網 (平成30年12月末)

### 店舗数

国内本支店	73
出張所	23
合計	96

- ★店舗
- ⓐ店舗外ATM
- ★東京支店
- ★福岡支店
- ★熊本支店
- ★大分支店

コンビニATM  
(ファミリーマート・ローソン・セブンイレブン)も  
ご利用いただけます！  
**全国4万6千台**



### ATM設置台数

宮崎市	176
都城市	58
延岡市	38
西都市	7
小林市	14
えびの市	5
日南市	16
串間市	4
日向市	24
その他	37
県外	20
合計	399

## 2.中期経営計画

<p><b>名称</b></p>	<p><b>お客さま成長力No.1銀行</b></p>																			
<p><b>目指す姿 (基本方針)</b></p>	<p>徹底した<b>業務品質向上</b>と<b>収益力強化</b>にこだわり、変化を恐れず、地域の未来創造に挑戦する、真の「リーディングカンパニー」への進化</p>																			
<p><b>計画期間</b></p>	<p>平成29年4月 ～ 平成32年3月 (3年間)</p>																			
<p><b>基本戦略</b></p>	<p>金融サービスの強化</p>	<p>生産性の向上</p>	<p>人財力・組織力の強化</p>																	
<p><b>みやぎん三本の矢 (中長期重点施策)</b></p>	<p>地方創生</p>	<p>事業性評価</p>	<p>女性活躍推進</p>																	
<p><b>目標指標 (平成32年3月末)</b></p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="651 1050 1003 1174"> <p>収益性</p> </td> <td data-bbox="1012 1050 1514 1174"> <p>経常利益</p> </td> <td data-bbox="1523 1050 1960 1174"> <p>100億円</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="1012 1174 1514 1238"> <p>ROE (当期純利益÷自己資本)</p> </td> <td data-bbox="1523 1174 1960 1238"> <p>5%</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="651 1238 1003 1302"> <p>効率性</p> </td> <td data-bbox="1012 1238 1514 1302"> <p>OHR (経費÷コア業務粗利益)</p> </td> <td data-bbox="1523 1238 1960 1302"> <p>69%</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="651 1302 1003 1366"> <p>健全性</p> </td> <td data-bbox="1012 1302 1514 1366"> <p>自己資本比率</p> </td> <td data-bbox="1523 1302 1960 1366"> <p>9%</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="651 1366 1003 1430" rowspan="2"> <p>成長性</p> </td> <td data-bbox="1012 1366 1514 1430"> <p>総預り資産残高 (総預金残高+預り資産残高)</p> </td> <td data-bbox="1523 1366 1960 1430"> <p>3兆円</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1012 1430 1514 1437"> <p>総貸出金残高</p> </td> <td data-bbox="1523 1430 1960 1437"> <p>2兆円</p> </td> </tr> </table>			<p>収益性</p>	<p>経常利益</p>	<p>100億円</p>		<p>ROE (当期純利益÷自己資本)</p>	<p>5%</p>	<p>効率性</p>	<p>OHR (経費÷コア業務粗利益)</p>	<p>69%</p>	<p>健全性</p>	<p>自己資本比率</p>	<p>9%</p>	<p>成長性</p>	<p>総預り資産残高 (総預金残高+預り資産残高)</p>	<p>3兆円</p>	<p>総貸出金残高</p>	<p>2兆円</p>
<p>収益性</p>	<p>経常利益</p>	<p>100億円</p>																		
	<p>ROE (当期純利益÷自己資本)</p>	<p>5%</p>																		
<p>効率性</p>	<p>OHR (経費÷コア業務粗利益)</p>	<p>69%</p>																		
<p>健全性</p>	<p>自己資本比率</p>	<p>9%</p>																		
<p>成長性</p>	<p>総預り資産残高 (総預金残高+預り資産残高)</p>	<p>3兆円</p>																		
	<p>総貸出金残高</p>	<p>2兆円</p>																		

# 重点施策 ~ 地方創生

## 女性と若者の創業支援

### ビジネスプランコンテストの開催



MUKASA-HUBとの連携による女性を対象としたビジコン、ならびに宮崎大学との連携による学生を対象としたビジコンを開催。新しいマーケットと雇用の創生につなげていきます。

## 事業承継・M&A 支援

### M&A地域貢献大賞受賞



日本M&Aセンター主催第6回M&Aバンクオブザイヤーにて、「地域貢献大賞」を受賞。地域企業の発展と存続のため、サポート体制を強化して取り組んでいます。

## 地元大学との連携

### 当行イメージCMプロジェクト



学内の社会学習機能の機会を創出し、学生がCM制作を経験することで、将来の宮崎を担う人材を育成することを目的に、宮崎大学で当行のイメージCMを制作するプロジェクトを実施。CMは2月中旬から放映予定です。

## お取引先の販路拡大

### 地元特産品の物産展・商談会開催



日本郵便との連携協定に基づき、東京丸の内で「みやざき3つ星フェスティバル」を開催しました。また、「地方銀行フードセレクション」をはじめとする様々な商談会を通じ、地元の魅力を発信します。

# 重点施策 ~ 地方創生

## 農業法人「夢逢いファーム」

### アボカド

平成29年8月農業法人設立



アボカド生育1年



「アボカド」を宮崎ブランドへ



写真はイメージ

実がつくまで2年かかるアボカド。今年秋の収穫を目指し丹精込めて育てています。

### キウイフルーツ

新たに「キウイフルーツ」生育事業を開始します

宮崎県総合農業試験場との「協働事業に関する覚書」締結式



平成31年1月キウイ畑地鎮祭



写真はイメージ

宮崎県産農産物の付加価値向上

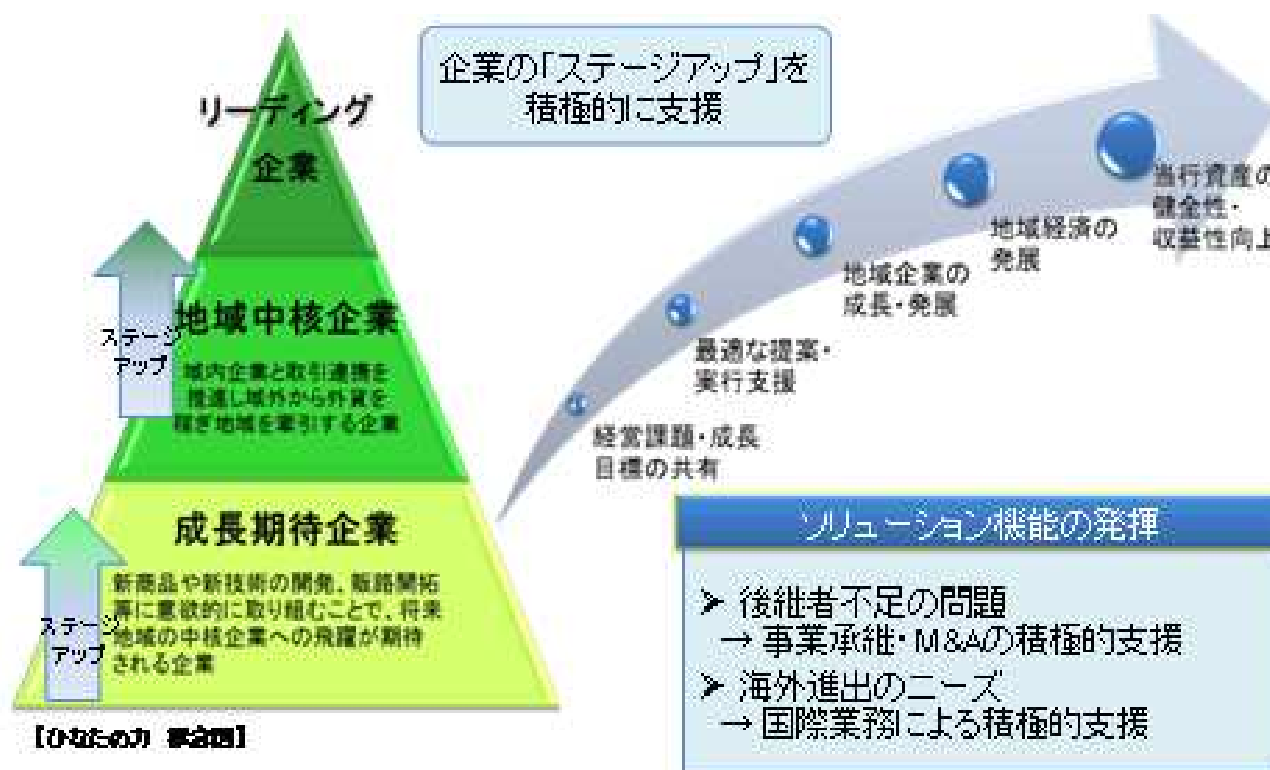
# 重点施策 ~ 事業性評価

事業性評価とは、お取引先の財務内容に加え、技術力・成長性・将来性といった定性的な要因を詳細に把握分析することです。これにより担保や保証に拠らない融資を行い、地元企業の成長をサポートしています。



## みやぎん中核企業応援プロジェクト 「ひなたの力」

地域を牽引する「地域中核企業」と将来的に地域中核企業への飛躍が期待される「成長期待企業」の成長を促す取り組み。現在、取引先の中から約100社を選定し、さまざまなニーズに対しサポートを行っています。



【ひなたの力 概念図】

## 女性活躍推進プロジェクト「Blue Wings」に基づく取り組み

### Blue Wings Project

#### 北ウイング（行外向け）

- ・女性向け住宅ローン「Elena」
- ・女性経営者の会「彩色賢美」
- ・女性起業家ビジネスプランコンテスト
- ・女性起業家支援ファンド
- ・日本郵便との異業種交流会 など

彩色賢美  
SAISHOKUKENMI

商品



ビジネスプラン  
コンテスト



#### 南ウイング（行内向け）

- ・女性の活躍機会創出
- ・男性管理職・行員の意識改革
- ・出産・育児に対するフォロー強化  
（ラメールの会・復職前研修）
- ・女志リーダーズ活動 など

女志リーダーズ  
活動

ラメールの会



意識改革



女性活躍による新たなマーケット創出への貢献

## よりよい職場環境の構築へ

### 働き方改革への取り組み

「早帰り」への取り組み

パワーアップデイ・スーパーチューズデイ  
17時退行実施

事務効率化による早帰り促進

H29.4月より敷地内禁煙がスタート

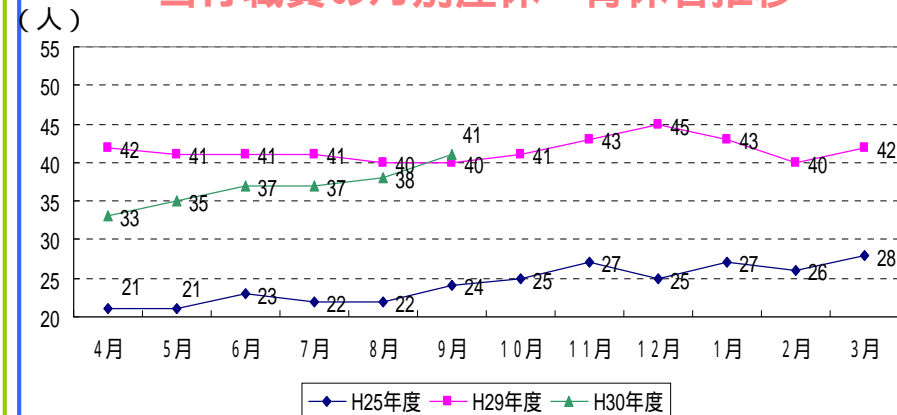


宮崎県内では  
初となる「健康  
経営優良法人  
2018」に認定

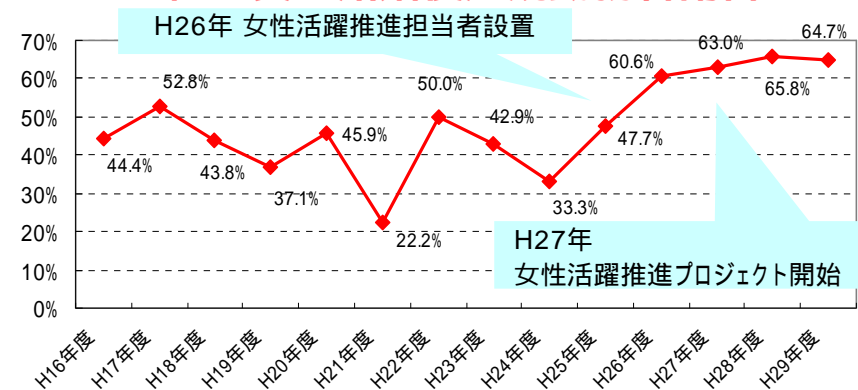


### 女性が活躍できる企業風土の構築

#### 当行職員の月別産休・育休者推移



#### 女性行員の結婚後継続勤務者割合



H26年 女性活躍推進担当者設置

H27年  
女性活躍推進プロジェクト開始

## ワーク・ライフ・バランスの実現へ

# 国際化への取り組み

## お取引先の国際化サポート

### 国際ビジネス関連事業への投融資



海外ビジネス展開のサポート、および海外への販路拡大を目的に設立された企業および地域商社に対し、ファンドを通じた出資を行いました。

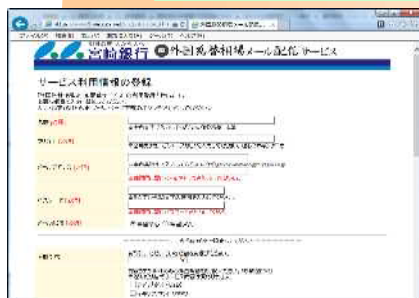
地元企業の海外現地法人に新店舗設備資金を現地通貨建てで融資するなど、海外での事業展開を積極的にサポートしています。

(現地通貨建てで融資することで為替リスクを回避できるメリットがあります。)



地元企業の現地法人が運営するバンクパーのレストラン

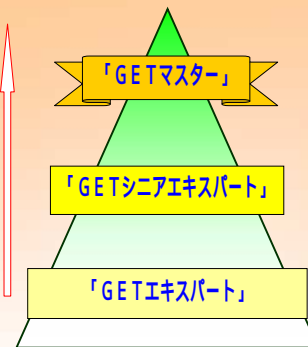
### 外国為替メール配信サービス開始



登録したメールアドレスに対して、原則として1日1回5通貨の当行外国為替相場(仲値)を配信するサービスを開始しました。

## インターナショナル人財の育成

### インターナショナル人財育成制度「MIYAGIN GET」創設



国際業務に強い人財を育成する目的で、語学力に長け、国際業務関連資格を持つ19名を「エキスパート」「シニアエキスパート」に認定しました。

### 宮崎大学留学生との国際交流



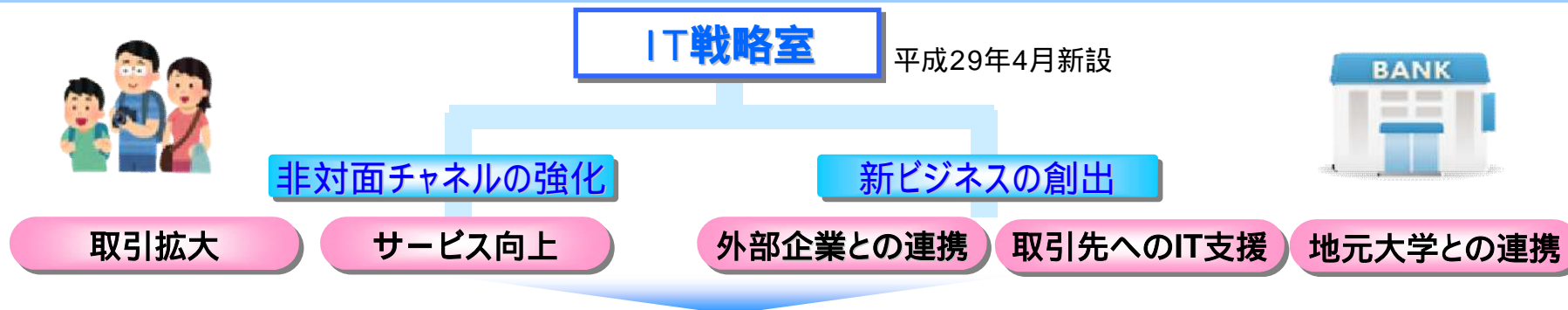
当行行員と外国人留学生との交流の場を創出しています。

### 海外研修の実施

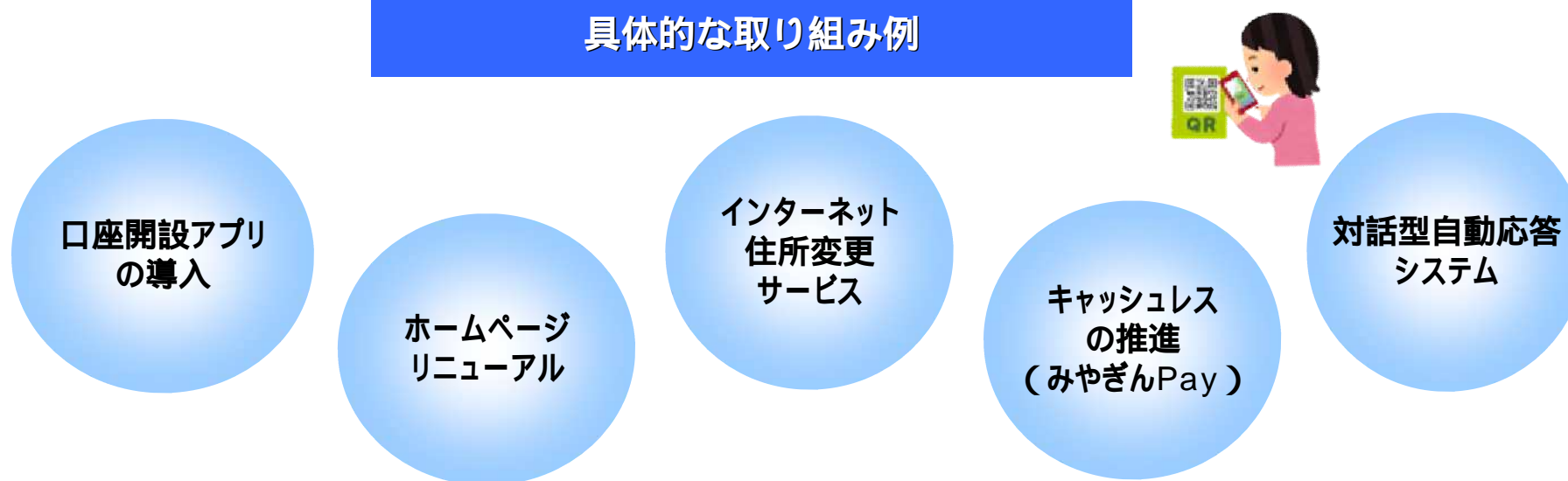


行員の視察団を派遣し、現地の動きを肌で感じる機会を創出しました。

## 経営企画部「IT戦略室」の取り組み



## 具体的な取り組み例



## サイバーセキュリティに対する態勢整備・強化



## 口座開設アプリ

- ・アプリで24時間口座開設の申込みが可能
- ・アプリ口座は通帳レス
- ・個人向けネットバンキングサービス「いっちゃんえっと」で、さまざまなお取引が可能



## ホームページリニューアル

- ・デザインを見直し、これまで以上に使いやすさ、見やすさを向上
- ・コンテンツを充実させ、スマートフォン・タブレットでも操作しやすく改良



## インターネット住所変更サービス

- ・平成30年8月より当行のキャッシュカードをお持ちで当行とのお取引引きが「預金取引」「無担保ローン取引」のみの個人のお客さまを対象にパソコンやスマートフォンから住所変更のお手続きが完了するサービスを開始



## みやぎんPay

- ・平成31年2月よりスマートフォン決済サービス「みやぎんPay」の機能を拡充
- ・バーコード払込票によるスマホ決済に加え、QRコード店頭決済サービスを開始

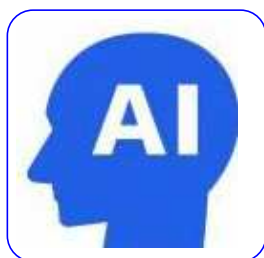
## バーコード決済

- ・バーコードを読み取ることで、即時に預金口座から決済可能

## QRコード決済

2月より  
サービス開始

- ・QRコードを読み取ることで、即時に預金口座から決済可能
- ・中国人観光客の需要に対応可能



## 対話型自動応答システム

平成30年12月よりホームページ上で個人向けネットバンキングサービスを対象とした対話型自動応答システム（以下：FAQシステム）の稼働を開始

## 新商品の取り扱い開始

### CSR型私募債「With」



私募債を発行されるお客さまからいただく手数料の一部を希望する団体へ寄贈できる“With”で、地域貢献の輪を広げます。

### 住宅ローン”未来設計”・”Elena”



非正規雇用の方もお借り入れ可能な住宅ローンの取り扱いを開始しました。

## 親しまれる窓口づくり

### ユニバーサルサービス研修



すべての人が利用しやすい窓口を目指して、行員に対し体験型の研修を実施しました。

### 店舗への宮崎県産木材利用



宮崎県産杉をふんだんに使用した店舗に対し「みやざき木づかい県民会議」さまより感謝状をいただきました。

## 環境保全への取り組み

### みやぎんの森整備活動



### クリーンアップ活動



# 地域社会への貢献

## 金融教育活動への取り組み

### キッズセミナー



### 全国高校生金融経済クイズ 「エコノミクス甲子園宮崎大会」を開催



### 中学生対象の職場体験



### 新社会人向けセミナー



### 女性向けセミナー



## 特色ある商品ラインナップと多様なサービスの提供

### 外貨両替サービス

宮崎ブーゲンビリア空港国際線ターミナル内に国内外の旅行者のニーズに対応するため「外貨自動両替機」を設置しました。外貨（13通貨）から円へ、円から外貨（4通貨）へ両替が可能です。



### 個人型確定拠出年金

iDeCo（イデコ）

### 新みやぎんひまわりプラン

「公的年金だけでは将来が不安」という方に、個人型確定拠出年金の税制優遇措置を活用した、賢い将来の備えをご提案します。



個人型確定拠出年金

### NISA枠を活用した 資産運用のご提案

平成29年1月から新たなNISA非課税枠がスタートしました。豊富な商品ラインナップで、資産運用のあらゆるご相談にお応えします。



### 資産相談プラザ

窓口では相談やご対応が困難な資産運用相談の専門プラザです。商品販売を前提としない、ライフプランや資産・商品に関する課題解決にご対応します。土日も営業しておりますので、お気軽にお問合せください。



### みやぎん住まいのプラザ

住宅資金に関する相談窓口を宮崎・鹿児島に7店舗展開しています。土・日・祝日も営業しており、キッズコーナーも併設しています。マイカーローンや教育ローンなど各種ローンも相談できます。

### みやぎん

### 相続サポートセンター

相続手続きや将来の相続税対策等のご相談を承るプラザです。当行専門スタッフと外部専門家との連携によりお客さまの円滑な資産継承をサポートします。



## 宮崎銀行女子陸上部

### 県内唯一の実業団女子陸上部



#### <プロフィール>

創部：2012年（平成24年）6月

部員：8名

部長：西川 義久（取締役人事部長）

監督：西村 功

#### <目標>

- ・地域や県民の皆さまに、勇気・希望・感動を与える走りをする
- ・全日本実業団女子駅伝 本戦出場



#### 全日本実業団女子駅伝予選会



#### ひむかレディーストライアル

5,000m優勝

立山選手（中央）



### 3. 当行の現況 直近業況(2018年9月期)



【単位：億円 %】

	2017年 9月期	2018年 9月期	前年同期 増減
経常収益	231.8	240.9	9.1
コア業務粗利益	178.1	182.3	4.2
資金利益	159.7	165.0	5.3
役務取引等利益	19.7	17.2	2.5
その他業務利益 (債券関係損益を除く)	1.3	0.1	1.4
経費	120.8	119.3	1.5
コア業務純益 ( - )	57.3	63.0	5.7
与信関連費用	4.4	4.0	8.4
有価証券に関する損益	4.1	6.3	2.2
その他臨時損益	2.5	2.7	0.2
経常利益 ( - + + )	59.5	76.0	16.5
当期(中間)純利益	39.8	53.0	13.2

#### 決算ハイライト

#### 2018年9月期 増収・増益 (3期ぶり)

##### 経常収益

+9.1億円 2期連続の増収

貸出金利息 + 2.4、有価証券利息配当金 + 0.3、  
貸倒引当金戻入益 + 3.9、株式等売却益 + 3.5、  
役務取引等利益 2.5

##### コア業務純益

+5.7億円 2期連続の増益

資金利益 + 5.3、経費 1.5、  
その他業務利益(債券関係損益除く) + 1.4

##### 経常利益

+16.5億円 3期ぶりの増益

コア業務純益 + 5.7、与信関連費用 8.4、債券関係損益 + 3.0

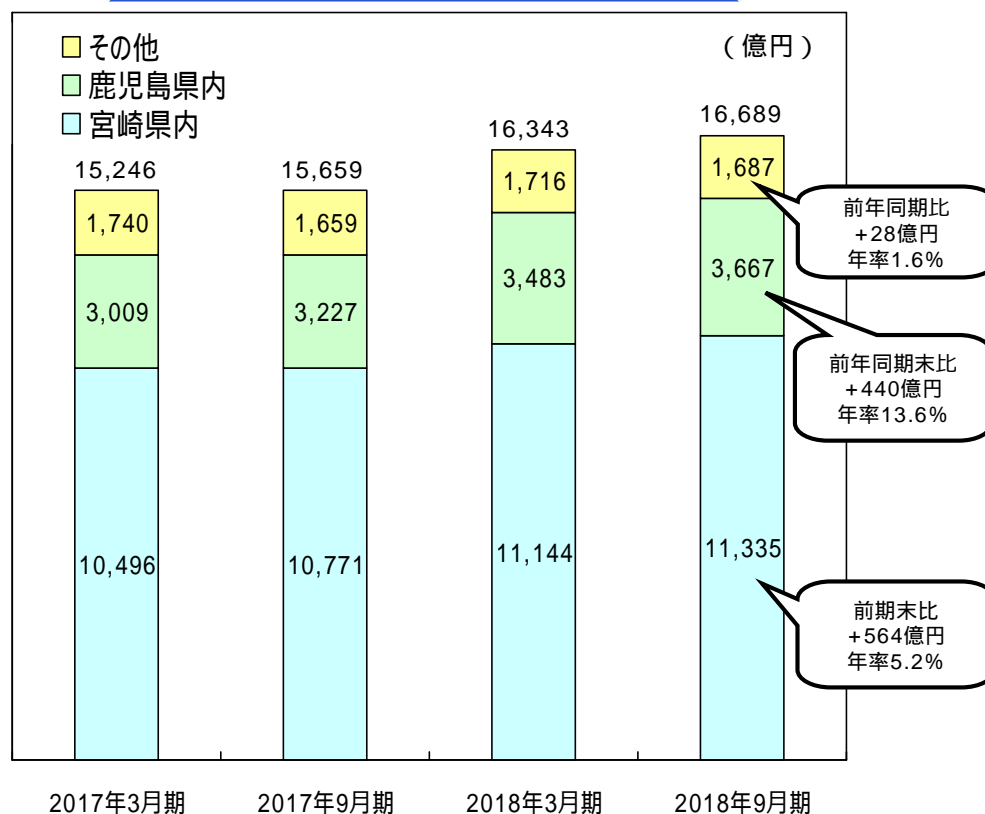
#### 2018年9月期決算の特徴

1. 経常収益は、貸出金利息および有価証券利息配当金が増加し、「資金運用利益」が増加。また、貸倒引当金戻入益および株式等売却益が増加し「その他経常収益」が増加。「役務取引等収益」は減少したが、前年同期比9.1億円の増収。
2. 経常利益は、本業のもうけを示すコア業務純益が5.7億円の増益。不良債権処理額等の減少により利益を押し上げ、前年同期比16.5億円の増益。

# 貸出金の状況

- ・地域別一般貸出金残高は、宮崎県内において年率5.2%、前年同期末比 564億円増加し 1兆1,335億円、鹿児島県内において年率 13.6%、前年同期末比 440億円増加し3,667億円。
- ・地域別一般貸出金利息は、宮崎県内において前年同期比 160百万円増加し 8,932百万円、鹿児島県内において前年同期比 240百万円増加し 2,271百万円。

地域別一般貸出金残高の推移



地域別一般貸出金利息の推移

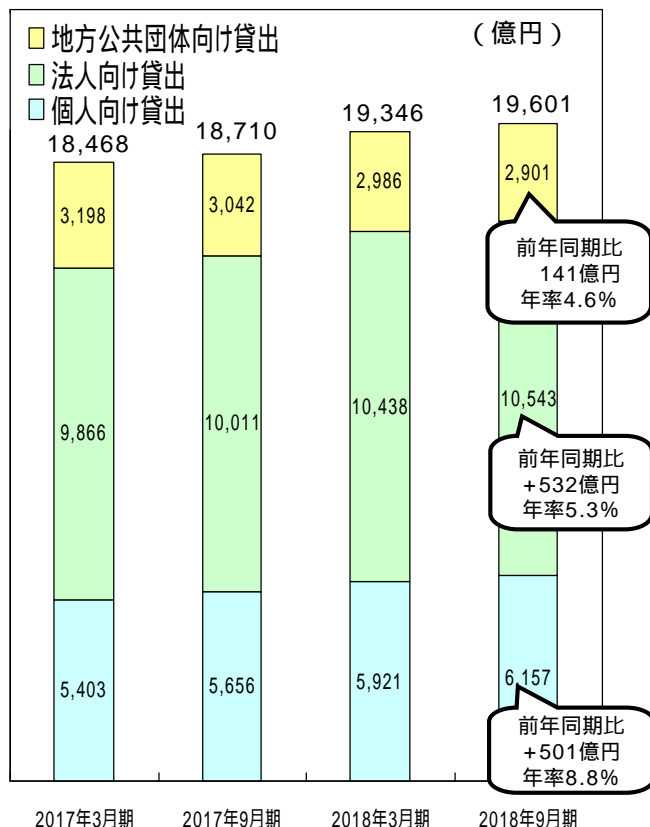
(百万円)

	2017年 9月期	2018年 9月期	増減
宮崎県内	8,772	8,932	+ 160 (+ 1.8%)
鹿児島県内	2,031	2,271	+ 240 (+ 11.8%)
その他	594	615	+ 21 (+ 3.5%)
合計	11,398	11,818	+ 421 (+ 3.6%)

# 貸出金の状況

- ・対象別残高は、個人向け貸出が年率 8.8%、前年同期末比 501億円増加、法人向け貸出が年率5.3%、前年同期末比 532億円増加。
- ・対象別貸出金利息は、地方公共団体向けが年率 16.1%、前年同期比 181百万円減少したものの、個人向けが年率 3.0%、159百万円増加、法人向けが年率 4.1%、262百万円増加。

## 対象別残高の推移



## 対象別貸出金利息の推移

(百万円)

	2017年 9月期	2018年 9月期	増減
個人向け貸出	5,153	5,312	+ 159 (+ 3.0%)
法人向け貸出	6,245	6,507	+ 262 (+ 4.1%)
地方公共団体 向け貸出	1,124	943	181 ( - 16.1%)
合計	12,522	12,762	+ 240 (+ 1.9%)

## セグメント別残高

中小企業等貸出残高	15,145億円
住宅ローンを中心とした個人向け貸出や不動産を中心とした事業性貸出が増加し、前年同期比1,121億円増加（年率8.0%）。	
アグリ関連貸出残高	729億円
事業性評価、コンサルティング機能の発揮により畜産業を中心に前年同期比53億円増加（年率7.8%）。	
医療・介護貸出残高	1,558億円
病院の建替えや診療所の新規開業等を中心に、前年同期比22億円の増加（年率1.4%）。	
住宅ローン貸出残高	5,568億円
住まいのプラザを中心とした積極的な業者営業を推進。前年同期比495億円増加（年率9.7%）。	
消費者ローン貸出残高	500億円
各種キャンペーン、DM等のプロモーションを推進。前年同期比4億円増加（年率0.8%）。	

2017年3月期 2017年9月期 2018年3月期 2018年9月期

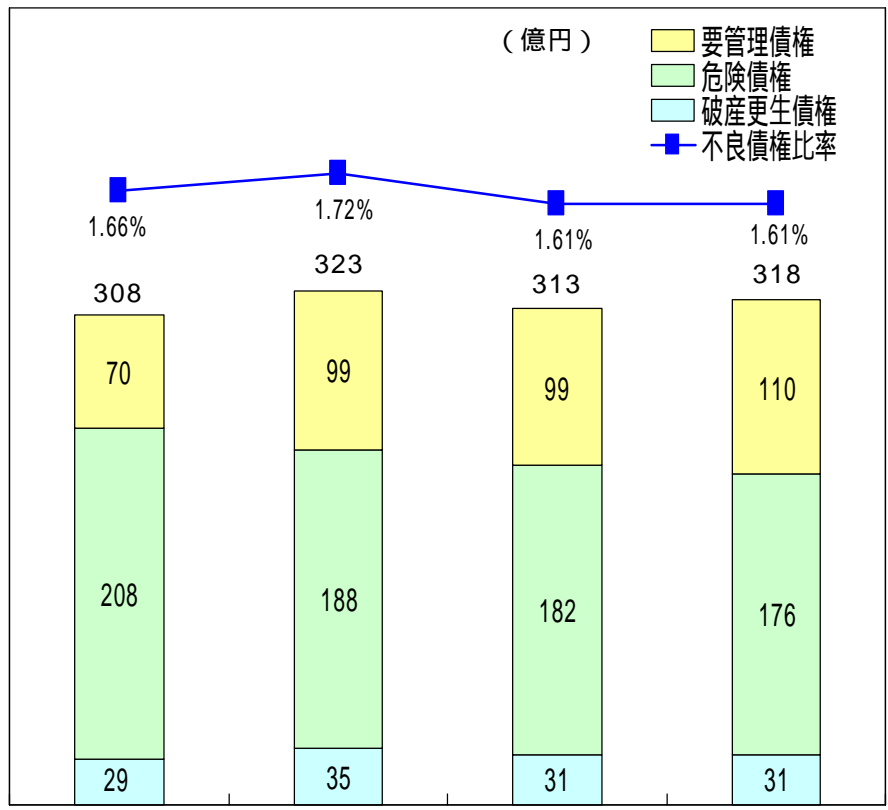
# 貸出金の状況

・与信関連費用は、不良債権処理額が減少し、貸倒引当金戻入益が増加したことから、前年同期比 8.4億円減少し 4.0億円の利益計上。  
 ・不良債権残高（金融再生法開示債権）は、前年同期末比 5億円減少し、318億円。不良債権比率は前年同期末比 0.11ポイント低下の1.61%。

与信関連費用の推移

	2017年 9月期	2018年 9月期	増減
与信関連費用（ + - - ）	4.4	4.0	8.4
一般貸倒引当金繰入額	2.3		2.3
不良債権処理額 <small>（個別貸倒引当金繰入額、貸出金償却等の合計額）</small>	2.8	0.3	2.5
貸倒引当金戻入益		3.8	+ 3.8
償却債権取立益	0.7	0.5	0.2

不良債権（金融再生法開示債権）残高の推移

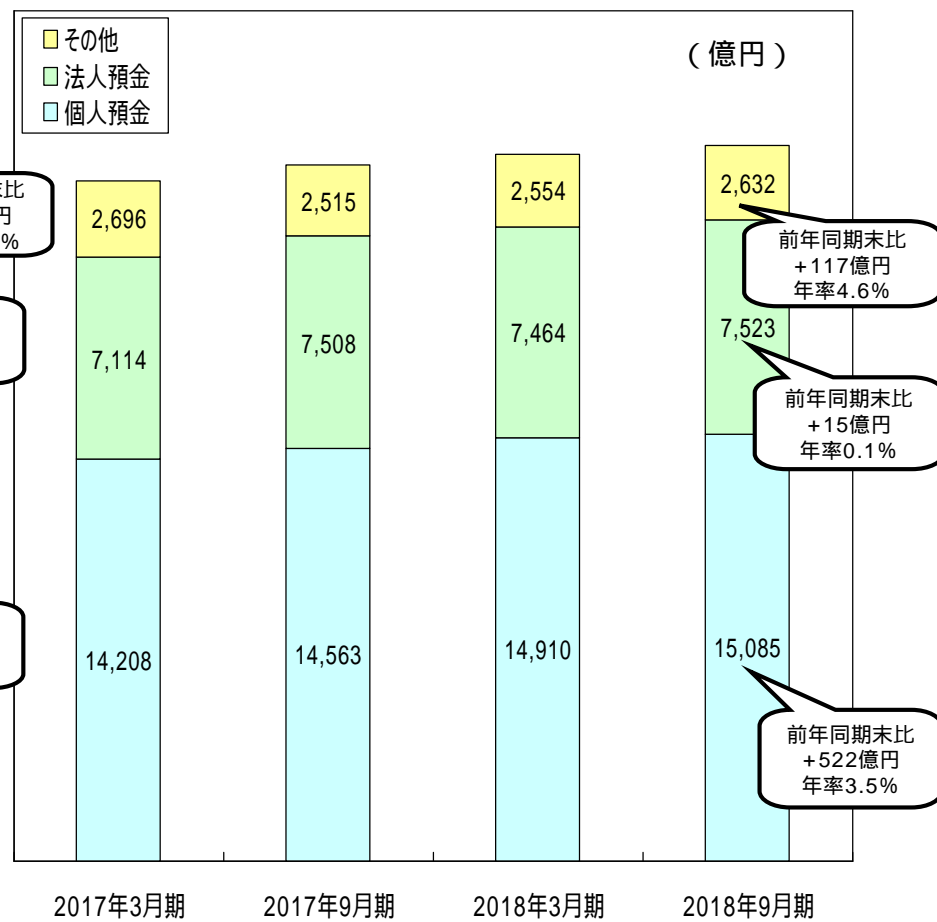
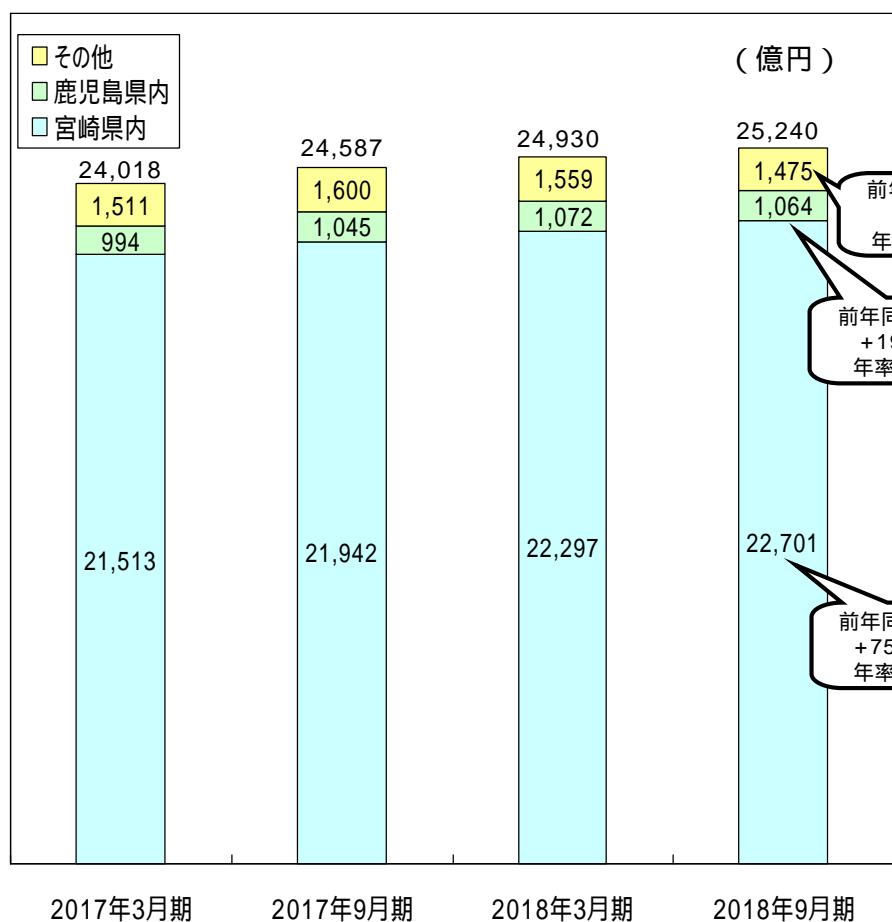


# 預金の状況

・預金残高は堅調に推移し、前年同期比653億円増加し2兆5,240億円。

地域別残高の推移

対象別残高の推移



# 役務取引等収益

- ・預り資産残高は投資信託、公共債等債券が減少したものの保険が増加したことから、前年同期末比200億円増加し3,904億円。
- ・預り資産手数料は投資信託関連手数料が堅調に推移し、前年同期比56百万円増加。ソリューション手数料はM & A 関連手数料が減少したことから前年同期比173百万円減少。

## 預り資産残高推移

(億円)

	2017年 9月期	2018年 9月期	増減
投資信託	479	447	32
公共債等債券	354	321	33
保険	2,870	3,135	+ 265
合計	3,704	3,904	+ 200

## 役務取引等収益の内訳

(百万円)

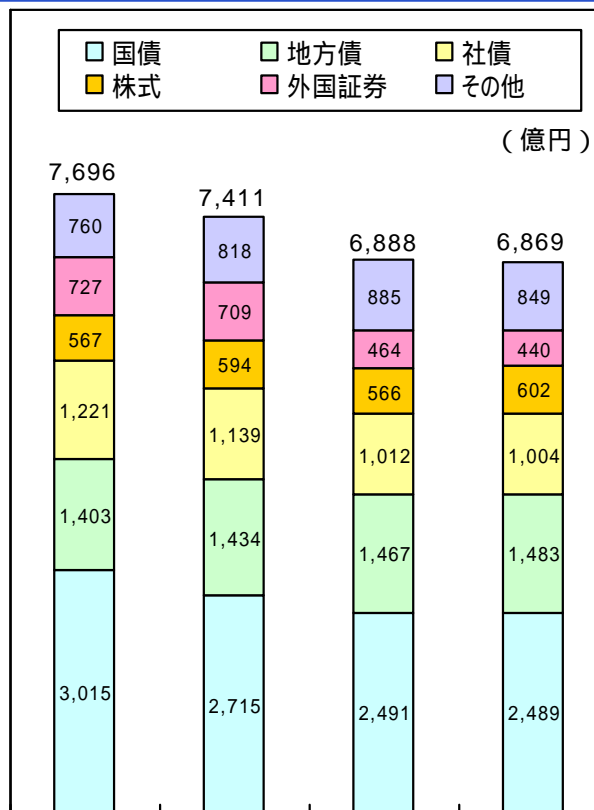
	2017年 9月期	2018年 9月期	増減
役務取引等収益	4,174	4,113	61
預り資産手数料	910	966	+ 56
投資信託関連手数料	222	261	+ 39
公共債等債券手数料	13	29	+ 16
保険関連手数料	675	675	0
ソリューション手数料( )	301	128	173
その他(為替手数料等)	2,963	3,019	+ 56

( ) 事業承継、M&A、ビジネスマッチング、私募債等に係る手数料

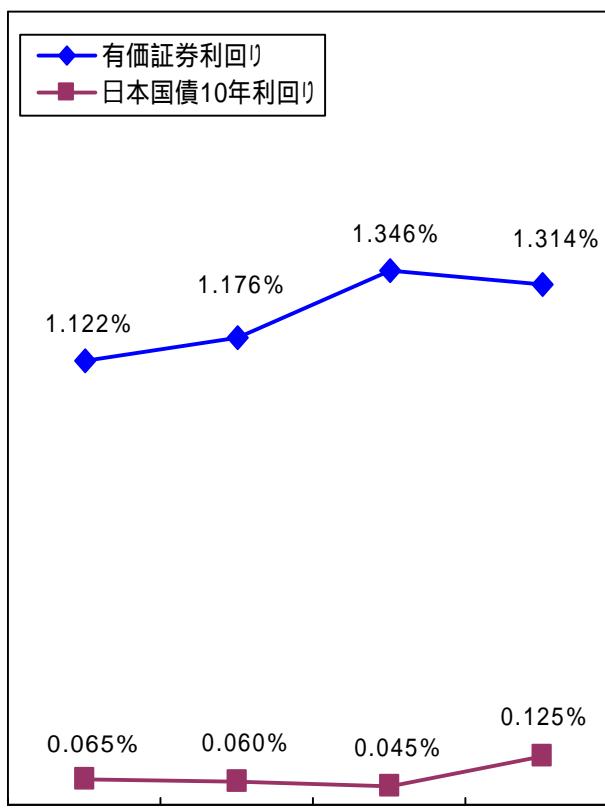
# 有価証券の状況

- ・残高は、国債や外国証券が減少したことから、前年同期末比 542億円減少し 6,869億円。
- ・利回りは、前年同期比 0.138ポイント上昇し、1.314%。
- ・評価益は、株式が増加したものの国内債券が減少したことから、前年同期末比 8億円減少し 284億円。

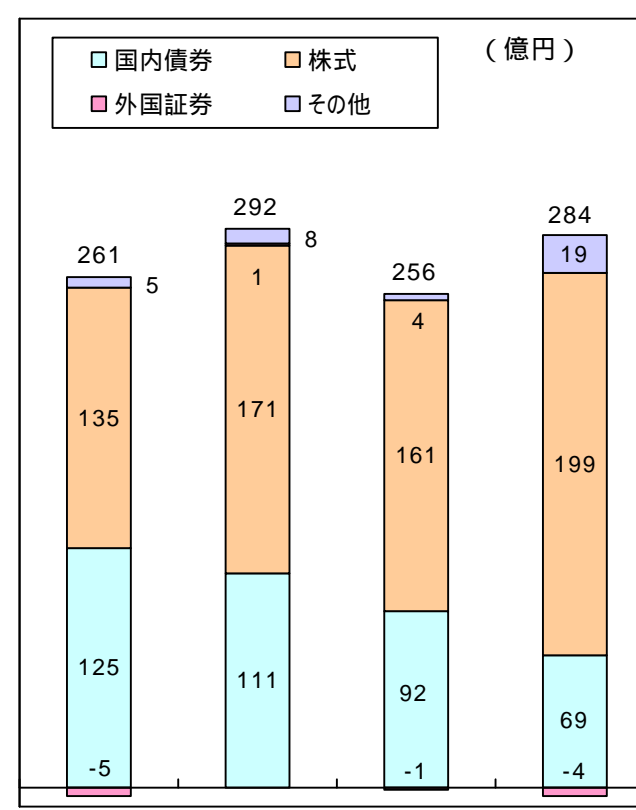
### 残高の推移



### 利回りの推移



### 評価益の推移



2017年3月期 2017年9月期 2018年3月期 2018年9月期

2017年3月 2017年9月 2018年3月 2018年9月

2017年3月期 2017年9月期 2018年3月期 2018年9月期

# 収益状況推移(5年前、10年前との比較)

## 全国地銀合計との比較(2018年3月期決算)

- ・貸出金利息は、利回りの低下で全国地銀合計が大きく減少するなか、ボリューム大幅増により5年前と比べ増加
- ・預り資産手数料、ソリューション手数料を含む役務取引等収益の増減率は、全国地銀合計と同水準

	全国地銀合計(単位:億円)				宮崎銀行(単位:百万円)					
	2018/3期	2013/3期比(増減率)	2008/3期比(増減率)	2018/3期	2013/3期比(増減率)	2008/3期比(増減率)				
資金運用収益	31,857	1,669	-5.0%	10,189	-24.2%	34,934	3,653	11.7%	731	2.1%
貸出金利息	22,371	3,502	-13.5%	8,988	-28.7%	25,194	951	3.9%	686	-2.7%
有価証券利息	8,886	1,657	22.9%	204	-2.2%	9,626	2,644	37.9%	1,679	21.1%
役務取引等収益	7,855	904	13.0%	196	2.6%	8,256	1,069	14.9%	420	5.4%
為替手数料	2,080	57	-2.7%	392	-15.9%	2,207	87	4.1%	325	-12.8%
その他	5,767	961	20.0%	589	11.4%	6,049	982	19.4%	745	14.0%
資金調達費用	2,602	52	-2.0%	6,153	-70.3%	1,719	279	-14.0%	3,747	-68.6%
預金等利息	992	682	-40.7%	5,241	-84.1%	367	545	-59.8%	3,577	-90.7%
資金利益	29,256	1,619	-5.2%	4,052	-12.2%	33,220	3,935	13.4%	4,461	15.5%
役務取引等利益	4,308	405	10.4%	572	-11.7%	3,800	305	-7.4%	2,103	-35.6%

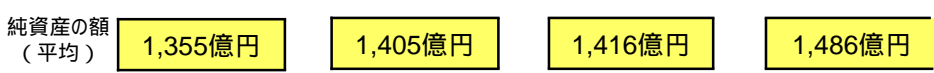
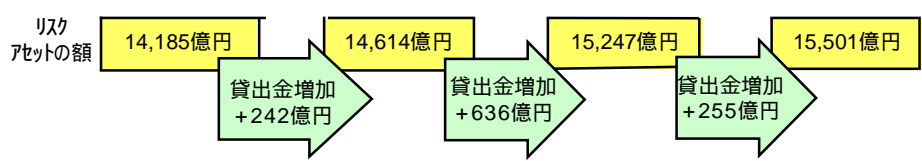
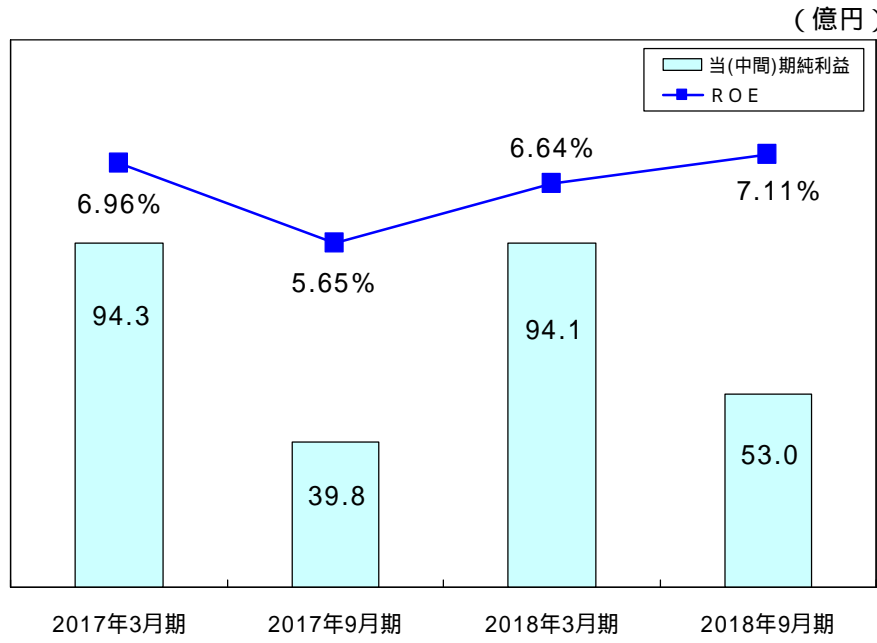
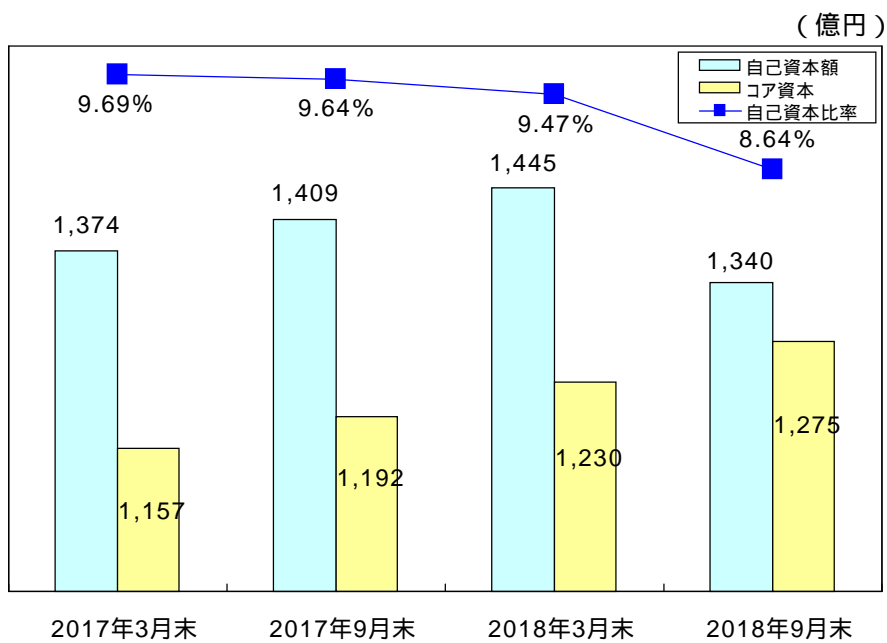
	全国地銀合計(単位:10億円)				宮崎銀行(単位:億円)					
	2018/3期	2013/3期比(増減率)	2008/3期比(増減率)	2018/3期	2013/3期比(増減率)	2008/3期比(増減率)				
貸出金残高	201,014	33,649	20.1%	52,468	35.3%	19,346	5,009	34.9%	7,318	60.8%
有価証券残高	70,617	4,671	-6.2%	13,662	24.0%	6,888	529	8.3%	2,127	44.7%
預金等残高	262,557	34,024	14.9%	66,440	33.9%	24,930	5,027	25.3%	8,064	47.8%

# 自己資本・ROEの状況

・自己資本比率は、劣後特約付社債の償還により自己資本額が減少したこと、貸出金等の増加によりリスク・アセットが増加したことから、前期末比0.83ポイント低下し、8.64%。  
 ・ROEは、純資産額が増加したものの、中間純利益が増加したことから前年同期比1.46ポイント上昇し、7.11%。

自己資本額および自己資本比率の推移

ROEの推移



$$ROE = \frac{\text{中間純利益}}{(\text{期首純資産額} + \text{期末純資産額}) \div 2} \times 100$$

# 業績予想

- ・2期連続の増収増益を予想。
- ・中間期実績を踏まえて、当初予想より経常収益は + 1億円、経常利益は + 15億円、当期純利益は + 11億円の上方修正。

## 2019年3月期決算 通期業績予想

	2018年3月期 実績	2019年3月期 当初予想	2019年3月期 予想	増減 -
経常収益	484億円	485億円	486億円	+ 1億円
一般貸倒引当金繰入額	- 億円	1億円	0億円	+ 1億円
不良債権処理額	3億円	11億円	4億円	8億円
経常利益	133億円	120億円	135億円	+ 15億円
当期純利益	94億円	85億円	96億円	+ 11億円

## 4. 株主還元について～配当性向

- ・2018年度中間配当 ... 1株当たり45円とさせていただきます。
  - ・2018年度期末配当 ... 安定配当を基本とし、1株当たり45円を予定しております。
- 今後も、高い株主価値の実現のため、利益の向上を図り、株主の皆さま利益還元を図ってまいります。

